日本建設機械化協会
J.C.M.A.

No. 213　　1967 年 11 月 号

目　　次

建設の機械化について……浅村　廉…1
[機械化施工に関する研究の現状と課題]
Ⅰ．建設省土木研究所……桑垣悦夫・中野俊次…2
Ⅱ．運輸省港湾技術研究所……松田　任…6
Ⅲ．日本国有鉄道鉄道技術研究所……石橋孝夫…10
[随　想] 雑　感……増山辰夫…14
早明浦ダムの工事計画概要……糸林芳彦…17
喜撰山水力発電所工事の施工計画……松居正次・門脇慶太郎…23
敦賀発電所建設工事の概要……江守健剛…31
日本通運本牧ふ頭の工事実績……伊東重八…39
テトラポッド工事における作業機械の諸問題……白石直文・斎藤克己…44

グラビヤ――建設機械の新しい整備の現況

宅地造成工事に使用した
バケットホイールエキスカベータ……鹿児島開発事業団…49
J.C.M.A. 欧州建設機械化視察団報告（その２）……佐久間七郎左衛門…53
[新機種紹介]
小松ハフ JH 65 C ペイローダ……佐野龍男…59
P & H H 212 TC 油圧式トラッククレーン……井阪秀夫…61
TCM タイヤ式トラクタドーザ 180 Ⅲ……今川義雄…63
[建設機械化講座]　第 55 回 現場フォアマンのための土木と施工法
XⅢ．改訂道路土工指針の解説（その１）
1．概　説……伊勢田哲也…65
2．土質調査と土の分類……三木五三郎…67
[建設機械化研究所抄報]
試験研究報告（No. 33）……建設機械化研究所…73
[文献調査]
文献目録紹介……調査部会・文献調査委員会…79
[支部便り]
第 11 回親睦野球大会開催……北海道支部…83
ニュース……(編集部)…84
会員消息……85
行事一覧・編集後記……(神部・塚原)…86

◇表紙写真説明◇

小松ハフ JH 65 C ペイローダ

小松インターナショナル製造株式会社

本機はすでに市販し，好評を博している JH 30 B, JH 60 につぐ米国インターナショナルハーベスタ社との技術提携の三番目にあたり，米国内でも最新のモデルとして注目され，機能の優秀性と技術の信頼性を誇る機種である。

本機のおもな特長は次のとおりである。

(1)　車体屈折式かじ取り機構を採用しているので狭い場所，起伏のある所，軟弱な地盤での作業にすぐれた能力を発揮できる。

(2)　運転席が前方フレームにあるので視界がよく，荷の積込み，投捨てが楽にできる。

(3)　フレームやバケットには高張力鋼板が使用されているので，高い剛性と耐久性を備えている。

(4)　エンジン，トランスミッション，アクセルの各部はユニットごとに車体から取りはずすことができるなど，永年の経験により保守，点検の容易さは抜群である。

おもな仕様

バケット容量	1.9 m³	全　幅	2,490 mm	作業時最大出力	125 PS
運転整備重量	10,900 kg	全　高	3,045 mm	走行速度　前進3段	0~6.1, 13.2, 32 km/hr
全　長	6,390 mm	機関名称	いすゞ DA 640-1T ターボチャージャ付	〃　後進3段	0~7.5, 15.5, 34 km/hr